

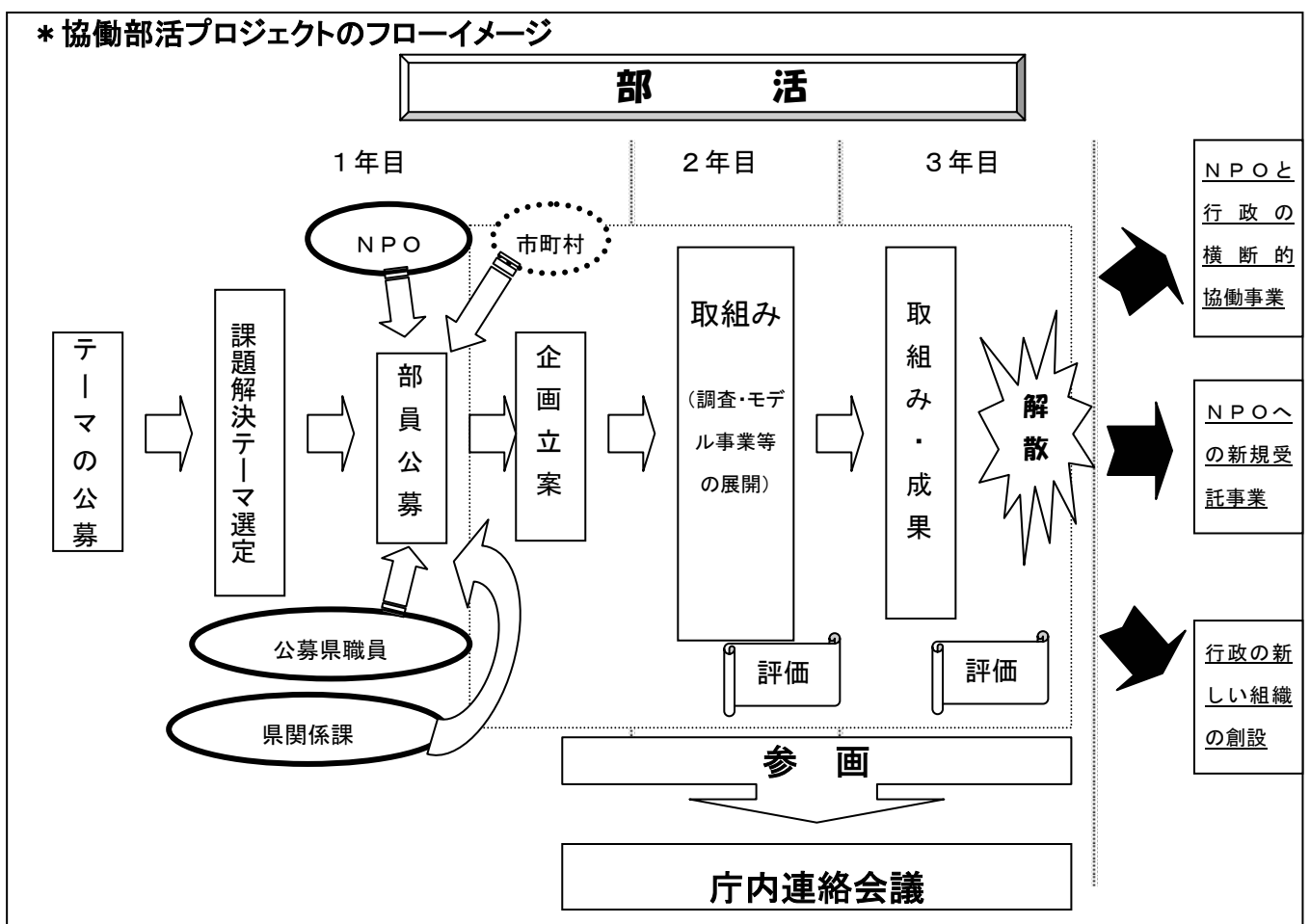
協働部活プロジェクト(協働部活)

協働部活とは…

協働部活とは、NPOと県が、従来の行政の縦割りを乗り越え、あるいは隙間を埋めながら、課題に取り組む新しい仕組みです。

この仕組みは、従来のように縦割りの行政各部局を調整することによって進めるものではありません。NPOと行政各部局が、統合された政策にそって横断的につながり、責任と信頼関係のもと、役割を分担しながら企画立案・モデル事業の実施等を行うことで、具体的な課題解決を目指すものです。

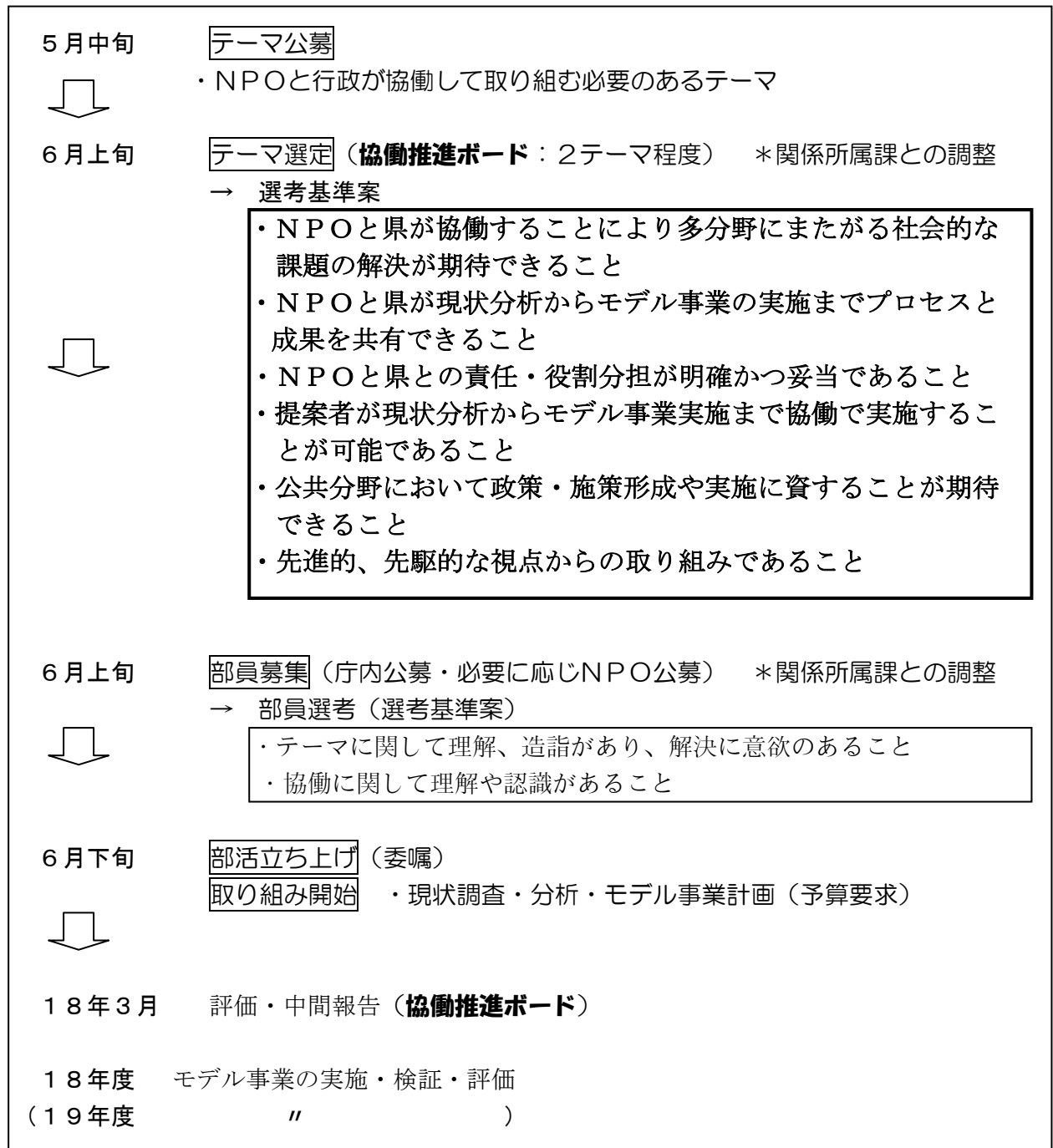
また、行政内部のしくみを変えることによって、住民サービスの向上につながったり、NPO活動がよりスムーズになることをねらっています。(しが協働モデル研究会報告より)



協働部活の取り組みについて

- 県職員は公務として参加します。
- NPO関係者は行政職員と同等の守秘義務を負います。(誓約書)
- 協働部活の取り組みは原則公開とします。
 - ・HP 協働ネットしがで活動内容を随時掲載、中間・結果報告会の開催
- 双方とも取り組みや成果について自己評価を行い、それを公開します。
 - ・パートナーシップ大賞評価シート(パートナーシップ・サポートセンター岸田真代氏)などを活用

【部活立ち上げの流れ】



協働部活が取り組むテーマとしてなじまないもの

- ・ 営利目的、特定の者の利益目的、政治・宗教・選挙目的、公序良俗に反するもの
- ・ 県がNPOを事業の実施主体としてだけ期待しているもの
- ・ NPO実施事業に対して単に県から委託や補助を受けることだけを期待しているもの